

第4章

まちづくりの基本方針

1 芦屋町の将来像

芦屋町の美しい自然環境や古くから培ってきた歴史・文化は、町の大きな魅力であり、活力あるまちづくりを進めるためには、それらの魅力を最大限に活かしていくことが重要です。

そのためには、芦屋町に住む人々が町の魅力を活かすまちづくりの担い手として育ち、住民と行政が一体となった協働のまちづくりを進めていく必要があります。

以上のことを踏まえ、第5次芦屋町総合振興計画では、将来像を以下のように設定します。

— 将来像 —

**魅力を活かし
みんなで作る 元気なあしや**

将来像に込める思い

魅力を活かし…

海や川などの自然、歴史・文化などの芦屋町の良さ、
魅力をまちづくりに活用します。

みんなで作る 元気なあしや…

まちづくりの担い手である住民との協働のもと、
活力ある元気な芦屋町をつくります。

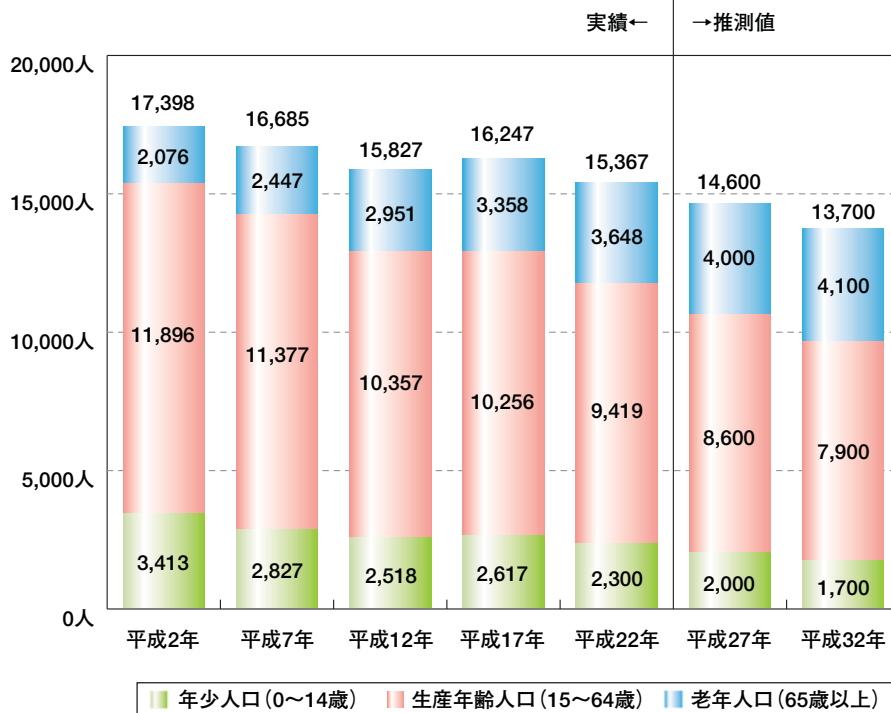
2 将来人口

日本の総人口そのものが減少している中、多くの市町村において今後の人口減少が予測されており、芦屋町における将来人口推計でも平成32年には13,700人と平成22年の15,367人と比べ、1,667人の減少が予測されます。

今後、町有地の有効利用や子育て・教育環境の充実などに取り組み、定住促進に努めることで、人口減少を抑制していく必要があります。このような考えに基づいた施策の推進を前提に、平成32年の目標人口を以下のように設定します。

平成32年の目標人口 14,300人

<芦屋町の将来人口の推計>



※平成22年は国勢調査の速報値（年齢3区分別人口は平成22年住民基本台帳人口に基づき案分）

<算出方法>

コーホート変化率法：コーホートとは、特定の社会的集団（通常は年齢階層別男女別人口）のことで、コーホート変化率法とは、年齢のコーホートごとに一定期間の人口の変化率が大きく変化することはないものと仮定して、将来人口を推計する方法。